

2022年4月11日

各 位

会社名 株式会社インターアクション
 代表者名 代表取締役社長 木地 伸雄
 (コード番号 7725 東証プライム市場)
 問合せ先 経営企画室 I R 担当
 電話番号 045-263-9220

2022年5月期通期連結業績予想の修正及び通期個別業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年1月12日に公表いたしました2022年5月期通期連結業績予想を下記の通り修正することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

また、個別業績の予想値につきましては、2021年7月12日に公表いたしました「2021年5月期決算短信〔日本基準〕(連結)」では開示を省略しておりましたが、今般、前期実績値との対比において、その差異が適時開示基準に達する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2022年5月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年6月1日～2022年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,803	1,871	1,806	1,189	108.20
今回修正予想(B)	5,903	1,123	1,153	685	62.63
増減額(B-A)	△900	△747	△653	△503	
増減率(%)	△13.2	△40.0	△36.2	△42.4	
(ご参考)前期実績 (2021年5月期)	6,627	1,751	1,748	1,159	105.61

〈修正の理由〉

当社グループ売上高の6割以上を占めるIoT関連事業セグメントにおいて、現状、当社製品は顧客の希望納期で供給可能であるものの、世界的な部材不足によるサプライチェーンの混乱によって、その他のイメージセンサ検査に必要な周辺装置全般が長納期化しております。このような状況の中、当社の検査用光源装置は周辺装置と納期を合わせる必要があるため、売上計上時期が来期へ後ろ倒しとなりました。そのため、期初に想定していた売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

なお、受注高及び受注残高は高い水準であることから、国内外の顧客において生産キャパシティの強化を継続的に推進していく動きは変わっておらず、顧客側の設備投資意欲は来期以降も堅調に推移すると予測しております。

2. 通期個別業績予想の公表

2022年5月期 通期個別業績予想数値の公表（2021年6月1日～2022年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期（2021年5月期） 実績（A）	百万円 4,574	百万円 1,779	百万円 1,818	百万円 1,263	円 銭 115.08
当期（2022年5月期） 予想（B）	3,870	1,152	1,202	776	70.94
増減額（B－A）	△704	△627	△616	△487	
増減率（%）	△15.4	△35.3	△33.9	△38.6	

〈新たに予想することとなった理由〉

「1. 通期連結業績予想の修正〈修正の理由〉」と同様の理由により、通期における売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が減少する見込みとなったためであります。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は環境の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上